

2017年3月15日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL17-15

報道関係各位

日本イーライリリー 2016年度売上高は2,432億円を達成 —対前年比売上3.1%増 8年連続業界3位以内の成長率を堅持—

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:パトリック・ジョンソン)は、2016年度売上高が、対前年比3.1%増の2,432億円¹を達成したと発表しました。2015年以降続いて発売、適応追加された製品群が売り上げを牽引しました。

主力製品の中で、「サインバルタ[®]」²は既存の中枢神経領域における伸張に加え、慢性腰痛症、変形性関節症に伴う疼痛の適応が追加され36.6%増、治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌の適応が追加された「サイラムザ[®]」は314.2%増と大きく売上を伸長しました。

また糖尿病領域では、週1回の持続性GLP-1受容体作動薬「トルリンティ[®]」³が1690.3%増、日本初のインスリン製剤のバイオシミラーである「インスリングラルギン BS 注カート『リリー』および同注ミリオペン『リリー』」⁴で367.6%増、加えて2015年にEMPA-REG OUTCOME[®]⁵試験の結果を発表したSGLT-2阻害薬「ジャディアンス[®]」⁴では813.0%増と新製品群が堅調な成長を見せ、既存製品の「トラゼンタ[®]」⁴の伸長と合わせて全体の売り上げに大きく貢献しました。

さらに、2016年11月には乾癬治療薬の生物製剤「トルツ[®]」⁶を新発売し、注力分野の一つである自己免疫疾患領域への参入を果たしました。(※薬価ベース、©2017 IMSヘルス IMS JPM 2016年1月-12月 MATをもとに作成、無断転載禁止)

<2016年 承認・適応追加、上市>

- セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤「サインバルタ[®]カプセル 20mg、30mg」慢性腰痛に対する適応追加(3月18日)、変形性関節症に伴う疼痛に対する適応追加(12月19日)
- 抗悪性腫瘍剤「サイラムザ[®]点滴静注液 100 mg、同点滴静注液 500 mg」治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌(5月23日)、切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に対する適応追加(6月20日)
- 乾癬治療薬「トルツ[®]皮下注 80mg オートインジェクター」「トルツ[®]皮下注 80mg シリンジ」製造販売承認取得(7月4日)、新発売(11月21日)

2016年度の業績について、日本イーライリリー代表取締役社長のパトリック・ジョンソンは次のように述べています。「近年新たに発売・適応追加された製品が売上を牽引し、8年連続業界で3位以内の成長率を継続できた結果、2016年度も堅調な業績を残すことができました。2020年に業界で売上10位以内に入るという目標にむけて、今後も患者さんのサポート、製品の開発といった分野を中心に革新的な取組みを展開していきます。特に研究開発の分野では、グローバル全体で2014年から2023年までの10年間で20の革新的新薬の承認を予定しており、世界同時開発を通じて日本の患者さんにもいち早くお届けしていく予定です。加えて、日本のアカデミアや研究機関と連携しながら、日本発のイノベーションにこれからも取り組んでまいります。」

¹ 決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字

² 塩野義製薬との共同販促(コ・プロモーション)

³ 大日本住友製薬との販売提携

⁴ 日本ベーリンガーインゲルハイム社との共同販促(コ・プロモーション)

⁵ ジャディアンスを投与した2型糖尿病患者の心血管イベントに対する影響を検討した試験結果(2015年9月のEASDにて発表)

⁶ 鳥居薬品との共同販促(コ・プロモーション)

<ご参考>

2016年度 製品別売上高 (日本)(薬価ベース、IMS JPM (2016年12月MAT)をもとに作成)

製品名	領域	2016年売上高	対前年比(%)
フォルテオ [®]	骨粗しょう症	488億円	-8.9%
ジプレキサ [®]	中枢神経系	477億円	-22.1%
サインバルタ ^{®*}	中枢神経系	416億円	36.6%
トラゼンタ [®]	糖尿病・内分泌系	385億円	10.4%
アリムタ [®]	がん	373億円	-2.1%
サイラムザ [®]	がん	289億円	314.2%
ストラテラ [®]	中枢神経系	229億円	25.1%
インスリン	糖尿病・内分泌系	167億円	-2.6%
エビスタ [®]	骨粗しょう症	131億円	-35.1%
ヒューマトローブ [®]	糖尿病・内分泌系	94億円	-4.5%
ザルティア [®]	泌尿器系	90億円	86.3%
トルリシティ [®]	糖尿病・内分泌系	44億円	1690.3%
ジャディアンス [®]	糖尿病・内分泌系	41億円	813.0%
ジェムザール [®]	がん	35億円	-29.1%
インスリン グラルギン BS 注リリー	糖尿病・内分泌系	31億円	367.6%
トルツ [®]	乾癬	0.3億円	n/a

本表の合計は決算ベースの売上の数字と一致しません。

* リリーおよび塩野義製薬株式会社の売上を合算したもの

©2017 IMSヘルス 無断転載禁止

後期開発品一覧 (日本) 2017年3月1日現在

治験薬記号(一般名)および剤型	予定される効能又は効果 対象疾患名および症状名	開発ステージ (国内)
LY3009104 (一般名: baricitinib) 錠剤	関節リウマチ	申請中
LY2062430 (一般名: ソラネズマブ) 静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	第Ⅲ相
LY2062430 (一般名: ソラネズマブ) 静注製剤	軽度アルツハイマー型認知症	第Ⅲ相
LY2062430 (一般名: ソラネズマブ) 静注製剤	前駆期アルツハイマー病	第Ⅲ相
LY2439821 (一般名: イキセキズマブ) 皮下注製剤	[効能追加] 体軸性脊椎関節炎	第Ⅲ相
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ) 静注製剤	胃癌	第Ⅲ相
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ) 静注製剤	肝細胞癌	第Ⅲ相
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ) 静注製剤	膀胱癌	第Ⅲ相
LY3009806 (一般名: ラムシルマブ) 静注製剤	非小細胞肺癌	第Ⅲ相
LY3314814 (一般名: 未定) 錠剤	早期アルツハイマー病における進行抑制	第Ⅲ相
LY2951742 (一般名: galcanezumab) 皮下注製剤	片頭痛発作の発生抑制	第Ⅲ相
LY3012207 (一般名: olatumab) 静注製剤	軟部肉腫	第Ⅲ相
LY2835219 (一般名: abemaciclib) カプセル剤	乳癌	第Ⅲ相
LY2835219 (一般名: abemaciclib) カプセル剤	非小細胞肺癌	第Ⅲ相
LY450190 (一般名: タダラフィル) 錠剤、経口水性懸濁液	小児肺動脈性肺高血圧症	第Ⅲ相
LY3012211 (一般名: necitumumab) 静注製剤	非小細胞肺癌	第Ⅱ相
LY3009104 (一般名: baricitinib) 錠剤	アトピー性皮膚炎	第Ⅱ相
LY3009104 (一般名: baricitinib) 錠剤	全身性エリテマトーデス	第Ⅱ相
LY3202626 (一般名: 未定) カプセル剤	アルツハイマー型認知症における進行抑制	第Ⅱ相
LY3074828 (一般名: 未定) 静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	第Ⅱ相
LY3074828 (一般名: 未定) 静注製剤, 皮下注製剤	尋常性乾癬	第Ⅱ相

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、疼痛、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん、結腸・直腸がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症、乾癬などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチなどの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>